

教育環境整備を

平塚盲学校に寄付

視覚障害者の教育環境整備などに役立ててもらおうと、春めき（足柄桜）の活用などを続けている「春めき財団」（南足柄市塚原）が21日、県のまなびや基金を通じて県立平塚盲学校（平塚市追分）に50万円を寄付した。同校への寄付は



昨年5月に続き2回目。寄付は前回同様、同財団

が取り組んでいる依頼者の人生を歌と映像で振り返る「セレモニービデオ」事業の一環。同事業は売上金から製作経費を引いた金額を視覚障害者施設に寄付する仕組みで、今回製作したビデオの依頼者が小田原市在住だったため県西部にある同校への寄付となった。

同校であった贈呈式で、柴山洋子校長に目録を手渡

した同財団の古屋富雄理事長は「これからも依頼者のご厚志に沿った寄付をしていきたい」と話した。写真。